

# User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

■ 天竜自動車運送株式会社

## 休日出勤負担軽減 自動点呼導入で実現した労働時間削減と現場の効率化

ご利用機器



### 導入のきっかけ 運行管理者の労働負担を改善へ

当社の課題は、運行管理者の労働環境改善と点呼業務の効率化でした。これまで、運行管理者が週末や休日でも出社して点呼を行う必要があり、長時間労働が常態化していました。こうした状況を改善するため、点呼の自動化によって負担を軽減し、より働きやすい環境を整えることが重要なテーマとなっていました。そこで、休日・早朝・深夜を含めた点呼を自動化できる「e 点呼セルフ Type ロボケビー」の導入を決定しました。運用を進める中で管理者からの提案もあり、日々の帰着点呼にも自動点呼を活用する運用へと発展してきました。



製品導入による  
効果・感想

### 自動点呼で働き方が向上

導入後、当初想定していた以上の効果が得られています。まず、点呼対応のための週末や休日の出勤が解消され、運行管理者の負担は大きく軽減されました。さらに、帰着点呼を自動化したこと、次のような効果も生まれました。

- ・運行管理者が長時間職場に残る必要がなくなり、午前中で退勤できる日が増えた
- ・ドライバーの点呼待ち時間が短縮された
- ・IT 点呼・遠隔点呼受け側の負担が軽減した

これらの変化により、日常業務の効率化が大幅に進み、結果として運行管理者の労働時間削減とワークライフバランスの向上につながりました。自動点呼機器の導入は、単なる業務効率化にとどまらず、従業員の働き方改善に直結する非常に有効な施策となっています。

操作性について  
(管理者)

### 管理者目線での 操作性改善への期待

操作性については、いくつか改善を期待したい点があります。まず、点呼計画の入力に時間がかかる点です。

業務内容を詳細に把握したうえで計画を作成することは、システムを効果的に運用するために重要ですが、この作業に管理者は負担を感じています。

また、他拠点乗務に関する設定が複雑である点も課題です。現在のシステムでは、乗務員が他拠点で勤務する際、その都度営業所の拠点登録を行う必要があります。機能として「兼任編入」は用意されているものの、実運用での活用が難しい状況です。同様に、営業所間での車両移動に関する設定も煩雑で、日々の業務効率に影響しています。

これらの理由から、現状ではシステムの全機能を十分に使いこなせていない面があります。

今後は、より直感的に操作できる UI 設計や操作性の向上によって、管理者の負担が軽減され、システムの利点をさらに効果的に活用できるようになることを期待しています。

# User Report

ユーザーレポート

—〇の証明—

天竜自動車運送株式会社

操作性について  
(ドライバー)

## ドライバー利用時の課題と効果

基本的な操作は簡単で、多くのドライバーが問題なく使用できています。一方で、免許証のかざし方やアルコール検知器の操作タイミングを誤ると点呼が完了できない場合があり、イレギュラーな状況が発生した際には、機械操作に不慣れなドライバーが戸惑うケースもあります。

しかし、導入効果は非常に高く、点呼待ち時間の大幅な短縮により、ドライバーの業務効率も向上し、現場としてもメリットを明確に実感できています。



総合的な  
導入効果

## 自動点呼導入で高まる信頼性

このように、操作面でいくつか改善の余地はあるものの、自動点呼機器の導入によるメリットは総じて大きく上回っています。正確な点呼記録の自動化により法令遵守の確実性が高まり、運行の安全性向上に寄与するだけでなく、管理者とドライバーの双方に安心感をもたらしています。

さらに、自動点呼の導入はDXに積極的に取り組む姿勢として社外からの評価にもつながっており、安全性と先進性を両立する企業として信頼を高める効果も感じています。

安全への  
取り組み

## 安全意識向上と点呼体制強化へ

当社では、安全運転と法令遵守を重視し、社員の意識向上につながる取り組みを継続しています。毎月「安全運転確認書」と「違反指導書」を発行し、その集計結果を賞与に反映する制度を導入しています。この取り組みにより、社員は自身の運転行動を数値で把握できるため、安全運転へのモチベーション向上に大きく貢献しています。

今後は、業務前自動点呼の導入を進め、点呼業務のさらなる効率化と正確性の向上を図ります。また、現在のIT点呼を遠隔点呼へ統一する計画も進行中で、点呼体制の一元化と標準化を進める予定です。

技術革新を進める一方で、人と人とのつながりを大切にする姿勢も変わりません。グループ会社を含め、人員が常駐する時間帯には従来通り対面点呼を継続し、コミュニケーションの質を維持していきます。

これらの取り組みを通じて、安全性の向上と業務効率化の両立を図り、最新技術と人的要素をバランスよく組み合わせた強固な安全管理体制の構築を目指します。同時に、社員の意識向上と職場環境の改善にも注力し、持続可能な安全文化の醸成に努めてまいります。

東海電子  
への要望

## 機器の省スペース化と 安定性向上への期待

必要機器が多く設置スペースを取るため、タブレット等への集約によるコンパクト化を期待しています。また、まれに自動点呼ソフトウェアが不調となることがあるため、さらなる安定性向上を期待しています。

取材ご協力

天竜自動車運送株式会社

代表取締役 渡辺 豪 様



住所: 〒434-0012 静岡県浜松市浜名区中瀬7135-64  
URL: <https://tenryujidousha.com/>

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。